

小樽港への来航クルーズ客船

2023-4-28 関 祐一

コロナ禍により小樽港もしばらく客船の寄港が途絶えておりましたが、令和5年4月10日早朝、再開第1船の仏「ル・ソレアル」が第3号埠頭に入港しました。この第3号埠頭は外国客船の大型化に伴い改修工事が行われておりましたが、同船の入港直前に市営上屋を改修した客船ターミナルが完成し、こちらも利用第1号となりました（ちなみに、この埠頭はまだまだ殺風景ですが、令和6年春には売店等の観光、商業施設が作られるとのこと）。「ル・ソレアル」は翌11日、当初予定よりも30分遅い17:30次港酒田に向けて出港しました。私は、出港が30分延びたため、仕事を定時に切り上げ、市内の手宮地区、高島地区で撮影できました。最後は小樽定番の日和山灯台を見下ろす祝津展望台まで走りましたが、ギリギリ間に合いませんでした（最後の祝津はおまけで行ったのですが）。

そして、第2船がオランダHALの「ウェステルダム」でした。こちらは4月20日9時頃に入港、勝納埠頭に停泊し、17:30出港しました。同船では、最初から祝津に向かい撮影しました。通過が18時過ぎとなり暗くなってしまうましたが、船室の灯りが綺麗で印象的でした。

今年度の小樽港は、10月までにのべ22隻（内航の「にっぽん丸」6回を含む）が寄港予定です。



小樽港に入港する「ル・ソレアル」



停泊中の「ル・ソレアル」



出港する「ル・ソレアル」



日和山灯台沖を航行する「ウェステルダム」